

地域の実情と課題

本市が令和2年度に実施した郡山市労働基本調査によると、女性管理職の割合は17%と低い状況にあり、更なる女性の活躍促進に向けた支援が必要な状況にある。

また、理工や政治の分野のほか、農業をはじめあらゆる分野で女性活躍が求められてきており、女性が広く興味・関心をもつ機会の創出及び提供を効果的に行うこと、家庭や地域、職場における理解やサポート及び女性が活躍しやすい環境づくりを進めていくことが課題である。

事業の特徴

進路選択前の児童、生徒にものづくり体験や実験、活躍する女性社員との交流を通して理系の楽しさについて体験する場や、多様な女性活躍の姿(ロールモデル)をきっかけとして、理工系分野に興味関心を持ってもらう機会を提供する。

令和6年度は建築士の仕事をテーマに様々な進路(大卒、短卒、高卒、専門卒等)から建築士となった複数のロールモデル(女性建築士)の講話や体験教室を保護者参加型で開催した。

事業の効果

ロールモデル(女性建築士)による進路選択のきっかけや仕事のやりがい等に関する講話や実際に家を建築するまでの過程を学ぶ体験教室をととして、参加児童や保護者が理工系分野への進路選択に対する興味関心の高揚を図ることができた。

アンケート回答者の約90%から、今回参加したことにより、理工系への進路について「とても興味を持った」又は「少し興味を持った」との回答を得られた。※「元々興味があった」約8%は除く

目的・目標

女子生徒の理工系進路選択を促進するため、理工系分野の楽しさを実感し、理工系の仕事を目指すきっかけ作りをする。

【理工系女子体験教室参加者数】

目標：15組 実績：40組(申込148組から抽選で選定)

連携団体

福島県建築士会郡山支部や本市開発建築指導課と協力して体験教室を開催した。

今後の課題

多くの児童やその保護者が理工系分野への進路選択に興味を持てるような内容作りをするとともに、ロールモデルによる実際の体験談やきっかけ等をととして、よりリアルに進路選択について考えるきっかけとなるような構成を目指していく。

また、アンケートをととして得られた他に興味がある理工系分野に関して、更なる意識の醸成を図っていくために、今後の内容検討の際に取り入れていく。

事業の概要

女性の割合が低い理工系分野において、女子児童・生徒の興味や理解の促進を図るために、市内小中学校の女子児童生徒及び保護者を対象に、理工分野へ興味をもつ機会を提供するための講演会や体験教室を開催した。

本年は、本市開発建築指導課や福島県建築士会と協力し、建築をテーマとして、女性建築士による進路選択のきっかけややりがいの講話、お菓子の家づくりをとおして、設計から、確認申請、建築確認、施工までの建築の一連を学ぶ体験教室を開催した。

【令和6年度実績】

令和6年8月4日(日)(対面開催)

女性建築士(ロールモデル)4人による講話・体験教室

対象者:郡山市内に在住、在学の小学校5～6年生、中学生の女子と保護者

テーマ:「目指せ!理工系女子 ～お菓子の家づくりをとおして、建築士の仕事を体験しよう～」

参加人数:対象児童と保護者40組(※申込148組から抽選により選定)



○ロールモデル講話
○体験教室の様子